



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第118号

2019年7月発行

発行者・代表 廣瀬登士子 〒195-0057 東京都町田市真光寺 2-13-11

けやきホームページURL <http://keyakitokyo.web.fc2.com/>

## 就任のご挨拶

廣瀬 登士子

4月27日に行われました総会で、会長の任を三輪様より引き継ぐことになりました。

三輪様には10年もの間、ご自身のお時間と労力を割いて『けやき』を引っ張り、支えてきていただきました。私たちが気付かないところでのご苦勞もたくさん有ったことと思います。本当にありがとうございました。同じく長きに渡って役員としてご協力いただいている皆様にも、併せて感謝申し上げます。

会員更新手続きが終了し、今年度は会員18名からのスタートとなりました。小さな会ですが、お互いの顔が見えやすく、活動がしやすい面もあるでしょう。「山椒は小粒でピリリと辛い」とも申します。色々な意見をお聞かせいただきながら、皆さんと一緒に、発達障害者やその家族の「この先」を考えていければと思っています。ご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度も東京LD親の会連絡会として、世田谷・にんじん村さん、東京東部・ルピナスさんと協力しながら、①東京都への要望書提出、②講演会と、大きな活動を2つ予定しています。ひとつ目の要望書は、9月頃都に提出できるよう、内容を検討中です。既に皆様にもお知らせしていますが、ご意見やご要望がありましたら、ぜひお聞かせください（当機関誌【けやき】6ページ参照）。ふたつ目の講演会につきましても、11月頃 TOSCA から講師をお招きして、「就労準備・就労継続」をテーマに講演会を開催できるよう、現在企画中です。こんなお話をお聞きしたいというご希望がございましたら、こちらもお知らせ下さい。

また毎月第4土曜、日曜のどちらかで例会も行っています。多くの会員の皆様のお顔が拝見できれば、とても嬉しく思います。



## 全国LD親の会 第12回総会 報告

◎ 日時：2019（令和元）年6月15日（土） 13時～16時30分

◎ 場所：国立オリンピック記念青少年センター センター棟311

生憎のお天気でしたが、全国から多くの親の会が集まり、第12回総会が開催されました。平成30年度の事業報告、決算報告、平成31年度（令和元年度）役員選任、事業計画（活動目的・活動方針）などの議案は、すべて満場一致で可決されましたことをご報告いたします。



今年度も様々な活動が行われますので、皆様、ご協力を宜しくお願い致します。

総会終了後は研修会が行われ、「発達障害のある高校生の実態調査からみた現状と課題（発達障害のある高校生の実態調査Ⅲ（速報）」）について東條氏による発表がありました。調査の内容を見てみると、気になった点がいくつかありました。

まず、中学から進路を選択する時の問題です。中学での学級籍に関わらず、「中学校からの情報が少なかった」「学力に見合う学校が少なく、選択の余地がなかった」という回答が多くありました。私の子どもが中学生だった頃も、親が情報をもとめて右往左往しましたが、今もあまり変化がないようです。次に、「受験時の特別な配慮や支援について、いつ学校に相談したか」という質問に対して、受験前に相談した人が公立校では2割以下だったこと、相談しなかった理由について尋ねた質問には、「理解がないので相談しても無駄だと思った」という回答が約2割あったということです。学校選択理由を聞いた質問に、『公立校以外（私立校、支援校、専修学校等）は「発達障害への理解があった』』という回答が多かったということも併せると、全体的に公立校は発達障害への理解が少ないというイメージがあるようです。最後に「友人がいますか」という質問では、保護者の約1/3は、子どもに「友人がいない」と思っているのに対し、本人は約6割が「友人がいる」と回答している点です。どういう人を友人と思っているのか、挨拶する程度の人のことも友人だと考えているお子さんも多いのかも知れません。

全国LD親の会が続けてきた高校生アンケートですが、低い年齢のお子さんがある会員の減少に伴い、高校生相当のお子さんも少なくなっており、データ数の確保の問題から、恐らく今回が最後になるとのことです。今まで行政等への発達障害者支援要請のための重要なエビデンスだっただけでなく、アンケートの回答から私たち親が気付きにくい子どもの気持ち・考えが分かることもあったので、とても残念です。

青年交流会も開催され、江戸東京博物館を見学し、両国を散策しました。その後の懇親会にも大勢の青年の方がご参加して下さい、色々な話をして楽しんでいただけた様子でした。（HT）

## 第18回全国LD親の会 公開フォーラム報告・感想

★ 品川裕香氏による基調講演「社会的自立を支える力」を聞きました。品川氏がこれまで関わってきた事例を挙げての講演で、1時間半があっという間でした。特に自立の基本は日常生活の確立と小学4、5年生くらいの日本語技術、それと体力という点にうなずかされました。一方で、こういった基本やセルフコントロール力を小さいうちの指導、訓練で身につけるといってお話には、うちは手遅れかなと思ったりもしました。午後は厚労省の障害児者支援室の田中尚樹氏による発達支援施策の動向についてお話を聞きました。発達障害の早期発見や生涯に渡る切れ目ない支援、地域連携推進マネージャー等が私たちが訴えてきたことが施策として実現しつつあると感じた反面、市町村レベルに降りてきた事業の実態はどのようなレベルなのだろうかと考えました。(TM)

★ 講演・行政解説・シンポジウムがあり興味深いお話のなかで、親の会東条氏から、読み書きアンケートを取った集計報告がありました。アンケートの質問の中で幾つかあげられた選択枝の中から一つを選び答えるのではなく複数の回答もあり、その割合が一番多かったとのこと。子供にアンケートを頼んだ時、字が読めても内容把握が出来ていないのか・・・回答を一つに決められないと考え込み、先に進まず私が「幾つでもいいよ」と言ったことを思い出しました。短文での質問でしたので聞かれたことは解っても、気持ちがまとめられず回答に迷い一つに決めることが難しい。読み書きは勿論ですが他の障害と重なり合ったものが数字に表れたと感じました。

また、最後に品川先生が「発達障害者への支援が進んだと言われているが、関わるようになった20年前とさほど変わらない」と話されました。まさにその通りだと思いました。学校教育中の支援、就職へ移行、職場での支援は進んできたと思えます。しかし、生涯に渉る生活、特に成人期において「今」支援が必要な人がいるということを知って欲しいと思います。5～6年後に支援体制が出来ても遅いのです。(H)

★ 当日は自立生活サポートチェック表を置いて頂けるということで、8時30分の集合の為、久しぶりに早起きをしました(笑)

品川裕香さんの基調講演の「社会的自立を支える力」では、本人の環境や成長によって変化する障害名の対応が指導のすべてではないこと。自立し社会参加するために体力、体の使い方、ルールやマナー、物事理解、忍耐、攻撃性、依存などに対応できる土台の必要性など、事例を交えながらお話を伺いました。その後、「文科省」「厚労省」から発達障害に関する行政説明や「読み書き困難の現状」のアンケート結果やヒアリング調査の事業報告をお聞きし、どれも貴重な情報で充実した1日を過ごすことができました。また、全国の仲間との繋がりも温かく感じる2日間でした。役員の皆様お疲れさまでした。そして・・・ありがとうございました。(N)

# ポーレポーレ活動報告



## ●2019年4月14日(日) 街歩き



今回は、都心の日比谷から皇居付近の散策を楽しみました。日比谷公園は、いかにも、都心のオアシスの様な場所で、花や緑が一杯でした。サイクリングやランニングをしている人が多く、私達は、そういった人達に紛れながら散策しました。祝田橋を渡り、皇居外苑に移動しました。ここでは桜田門や二重橋を見学し、更に時間が早かったので、当初の予定にはありませんでしたが、東御苑にも足を伸ばし、殿中松の廊下や、江戸城天守閣跡も見学しました。歴史で有名な場所を見て、当初の様子を想像しました。その後、東京駅近くにて皆で、昼食を取り、解散しました。

## ●2019年5月12日(日) 街歩き

本日は神代植物公園へ行きました。ちょうどバラフェスタをやっていたのでそちらや大温室を中心に回りました。バラは満開のものもあれば、まだまだなものもあり、展示期間がひと月というのも理解できました。広い園内でしたが、全体的に花が咲いていたのは区画ごととなかなか季節を感じさせる分け方になっているのが興味深かったです。



## ●2019年6月16日(日) 野球観戦 in 西武球場



本日の活動は通常と異なり日程の都合で3週目となりました。試合は1時からだったので12時半ごろの集合で、問題なく開始時間に間に合いました。

西武対ヤクルトの交流戦、試合内容は10対6で西武の勝利でした。全体的に打撃戦となり、見どころの多い試合展開でした。



## 東京都 ペアレントメンター養成・派遣事業について

皆さんは『ペアレントメンター』をご存知でしょうか。

東京都は、H29年度から『ペアレントメンター養成・派遣事業』を開始しています。「メンター」とは「信頼できる相談相手」という意味です。ペアレントメンターは、自身の障害児養育経験を活かして、同じような子どもを持つ親の子育ての悩みや不安に共感したり、様々な子育て経験や地域の情報等を親目線で伝えていったりする、言わば「親による親支援」をボランティアで行います。

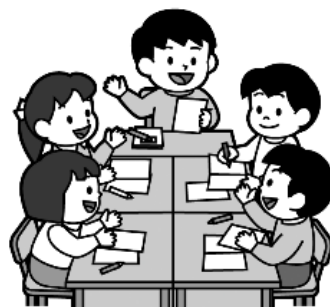
しかしながら、親同士の支え合いは、相談を受ける側も相談援助の専門家ではないため、場合によっては相手の気持ちに十分寄り添えなかったり、精神的な負担を感じてしまうこともあります。

そこで東京都では、東京都発達障害者支援センター（TOSCA）に「東京都ペアレントメンター事務局」を設置し、メンター候補者に一定の研修を受けて頂き、その研修終了後からメンターの活動が開始できるように制度が整えられました。当事務局が区市町村や親の会・サークルグループ等から依頼を受けると、原則2人一組でペアレントメンターが派遣され、悩みを聞いたり、情報提供を行ったり、支援のきっかけを作ったりする活動を行います。

東京都発達障害者支援センターのホームページの下記のURLで詳細をご確認ください。

<http://www.tosca-net.com/mentor/>

※ ペアレントメンターとして活動してみたい、興味がある、という方がいらっしゃいましたら、廣瀬までお知らせください。当事務局に繋げて参ります。



尚、養成研修受講には、次のような要件があります。

- ① 東京都在住で、ペアレントメンター派遣事業の活動（ボランティア活動）が可能である。
- ② 発達障害のある子どもの養育経験がある（原則、発達障害の診断を受け概ね2年以上かつ小学3年生以上の子どもの養育経験がある）。
- ③ 親の会やサークル活動などで、相談活動等の経験を有する。



## 東京LD親の会連絡会の報告

東京LD親の会連絡会は都内にある3つの親の会（にんじん村、ルピナス、けやき）が連絡を取りあいながら、一緒に活動している連絡会です。

5月19日（日）には今年度の総会を開催し、各会より8名の参加がありました。昨年度の活動報告・会計報告、冊子販売会計報告、そして、今年度の活動計画（東京都への要望書提出と合同勉強会を開催すること）を話し合いました。

要望書関係では、にんじん村「産業労働局」、ルピナス「教育庁」、けやき「福祉保健局」とそれぞれに分担して草案を作成し、次回定例会（8月18日）で読み合わせをする予定です。9月には都庁に届けたいと思います。

私たちは発達障害を持つ人たちの自立支援のため、行政と共により良い問題解決の道を開きたいとの願いを込めて、関連部局が実施している施策等についての要望を提出しています。

【参考資料】昨年度までの要望書および回答については、けやきHPに掲載

[http://keyakitokyo.web.fc2.com/tokyo\\_ld.html](http://keyakitokyo.web.fc2.com/tokyo_ld.html)

※福祉保健局関係（けやき担当）で、会員の皆さんの声（意見）を集めています。

- ・一生涯を通した切れ目のない支援体制の確立のために
- ・専門的人材の育成について
- ・自立生活援助について
- ・就労移行支援や就労定着支援の事業について

※あわせて、産業労働局や教育庁関係の項目でも、意見募集中。

合同勉強会では、「社会に繋がるために、働き続けるために」（仮）をテーマにしています。これから社会人となる年代の人達が知っておきたいこと、そして、すでに働いているが、将来の環境の変化にも対応して生活をするためにはどうしたらいいかを講師をお招きして、一緒に考えたいと思います。親自身も高齢になってきました。親亡き後を見据えておくことが、今年度も「けやき」のテーマです。けやき例会（11月24日）を兼ねて開催したいと計画中です。今から都合をつけておいて、ぜひ参加してください。（M）

### みんなで一緒に！

5回目はお子さんたちのクレジットカード利用についての相談です。皆さんのお子さんたちは『クレジットカードを利用されていますか？』というお声

について、例会に参加された会員さん方からお話を伺いました。（紙面の都合上、一部内容を編集しています）

**Q.ポイント付加式となるにあたり、子供たちのクレジットカード利用についてどのようにお考えでしょうか**

✿ Aさんより

息子は本人が自分で作って使用しているようです。クレジットカードでトラブルとかはありませんが、生活費が足りない時は、カード利用で不足分を補うことはあるようです。

❖ Bさんより

まだ働いていないので、もちろんクレジットカードは持たせていません。もともとお金を使いすぎる傾向があるので、クレジットカードを持たせるのが怖いです。以前からクレジットカードやリボ払い、ローンの危険度を折に触れて話してきました。でも、ポイント付加とか、キャッシュレスの時代についていくために何か必要となってしまいます。デビットカードのように使った分がわかるカードなら良いかと考えています。

❖ Cさんより

もともとお金をあまり使わないタイプです。クレジットカードは持たず、ネットで買い物する際にも支払いはコンビニ払いを利用しています。交通系のICカードのチャージ分で飲み物くらい買ったりしますが、手元にある範囲で賄うという考えでいるようです。

❖ Dさんより

本人にクレジットカードを作る気はないです。お金の使い方自体わかっていないようで、月によっては足りなくなることもある上、その経験がなかなか身につかず、心配しています。利用の都度、明細がわかるので、今後デビットカードを検討していきたいです。

❖ Eさんより

現在はクレジットカードを持っています。初めは、現金を利用目的別に箱に入れて分けていました。次にデビットカードからスタートして、今はクレジットカードを問題なく利用しています。説明書を読んでどういうものか一応理解しているようです。通勤寮でお金の使い方の指導を受け、お小遣い帳をつける習慣から、グラフ管理等工夫できるようになりました。今は目標を持っておかねを貯める習慣が付いています。ただ、親としてはクレジットカード利用にあたり、何かしらのトラブルが発生する可能性はあると覚悟しています。

❖ Fさんより

クレジットカードは持っていません。それ以前にまず、人間関係などで必要となるお金をコントロールする力をつけてほしいです。もともとはお金をそんなに使う方ではなかったのですが、職場での付き合いが増えるにつれて、出費もかさむようになってきました。今は家に入れるお金を減らしたいと交渉してきています。これから、人との付き合いで使うお金が妥当なものか判断し、調整できる力をつけていく必要があると思っています。

❖ Gさんより

カードは持たせていません。デビットカードならいいかと思います。給料管理は本人任せで、少し不安に思います。医療費、食費等で給料が足りなくなる時は応援しますが、分割で返してもらいます。こういう経験からか、お金が足りないから~~しないという判断ができるようになりました。

※まだ、クレジットカードを所有しているお子さんは少ないようです。しかしこれからの社会はキャッシュレスの方向へ進んでいきます。様々なカードがあるので、それぞれの特徴を理解して上手に付き合っていけるよう、準備していくことが必要だと思いました。

「お悩み」、質問を引き続き募集しています。会員メールにて廣瀬宛まで送ってください。例会にてお聞かせいただくことも大歓迎です。どうぞよろしく願い致します。



## 《日本 LD 学会第 28 回大会のお知らせ》

- ◆会期：2019年11月9日（土）～10日（日）
  - ◆会場：パシフィコ横浜 会議センター
  - ◆テーマ：LDの「定義」を再考する ～教育定義の誕生から＜20年＞の今こそ～
  - ◆申し込み期間：2019年4月1日（月）～9月20日（金）
  - ◆参加費（親の会）：事前申し込み 5,000円／当日 6,000円
- ※申し込みは始まっております。参加ご希望の方は、各自で日本 LD 学会 HP または下記 URL より早目にお申し込みください。

『日本 LD 学会第 28 回（東京）』トップページ

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jald28th/top>

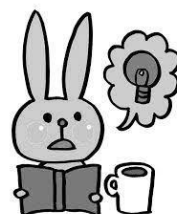
『日本 LD 学会第 28 回（東京）』参加申込ページ

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jald28th/static/regist>

## 《本のご紹介》

「最新版 図解 障害者総合支援法早わかりガイド」

著：山内一永（行政書士） 日本実業出版社 1,800円（税別）



障害のある人たちの日常生活や社会生活を総合的に支援するための法律として、2012年に「障害者総合支援法」が成立し、最新の法改正が2018年に行われました。将来子供たちが自立して生活していく時にどのような支援やサービスが受けられるのか、大まかにでも知っておくことは必要だと思います。

「障害者総合支援法」については、こちらの本以外にも何冊か解説本が出ていますので、ご自身が分かりやすいものを選ばれてもいいかも知れません。私の住んでいる地域では、図書館にも数種類置いてありました。（HT）

## 《編集後記》



大阪サミットでの議長国の挨拶で、「大阪城のエレベーター設置が大きなミス」発言を聞いて大きなショックを受けました。受け取る人により賛否両論があるようです。「忠実な復元」からすればエレベーターの設置はミスかもしれません。歴史的建造物と現代社会との融合を考えバリアフリーからすれば間違った発言となります。また、これをユーモアと見る場合もあります。本当に人それぞれだと感じる出来事でした。（MT）